**第６１回　全国公立学校教頭会研究大会　滋賀大会　報告書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大分県公立学校教頭会　研究部長　　汐見　美樹

１．期日　　　　令和元年　7月３１日(水)・８月１日(木)・２日(金)

２．全体会場　　びわ湖大津プリンスホテル

３．研究主題　　「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育」〈自立・協働・創造〉

４．日程

　７月３１日(水)　　開会行事　シンポジウム

　８月１日（木）　　分科会

　８月２日（金）　　研究のまとめ　記念講演　閉会行事

５．内容

　【シンポジウム】

　　・テーマ「身近な環境との関わりを通じ持続可能な社会の担い手となる子供の育成」

　　・コーディネーター　 小林圭介氏(滋賀県立大学名誉教授)

・シンポジスト　　　 勝山浩司氏（一般財団法人教職員障害福祉財団専務理事・事務局長）

　　　　　　　　　　　　 今関信子氏（児童文学作家）

　　　　　　　　　　　　 小林　徹氏（オプテックスグループ株式会社　代表取締役相談役）

　　　　　　　　はじめに小林氏の「地球という有限な器の中で持続可能な社会を築いていかなければならない」という話から始まり,それぞれのシンポジストの方が話をつないでいった。「より広い世界で遊ぶことのできる子供にするには，直接的な体験活動をたくさんすることが必要である。その上でその体験をもとに本を読み,さらに広い世界に行くことができる。「体験」がこれからの社会を生きるために必要となる「生きる力」につながる。」といった話であった。「教頭としてどうあればよいか」ということについては教頭の３つのワーク「フットワーク・ネットワーク・チームワーク」が必要ということ。「童心を忘れるべからず。種をまき，育てなければ，果実は実らない。」という言葉が印象的であった。

　【分科会】

　　・第１A，第１B，第２，第３，第４，第５A，第５B，第６，特Ⅰ，特Ⅱに分かれてのレポート発表等，グループ討議を行った。くわしくは各分科会報告参照。

　【研究のまとめ及び記念講演】

　　・各分科会の報告の後に記念講演が行われた。

　　・講師　　 今森光彦　氏　（写真家）

　　・演題　　　「琵琶湖水系の美しい自然」

　　　　　　　　講師の今森氏は，自然と人との関わりを「里山」という考え方のもと，写真

　　　　　　　を撮り続けている。その美しい琵琶湖や琵琶湖に住む生きもの，琵琶湖に関わる人々の姿が写った多くの写真を見ながら，琵琶湖の自然の素晴らしさについての講演だった。